■米国：DOE、ベースロード電源に関する調査報告書を公開

エネルギー省（DOE）は 2017 年 8 月 23 日、ペリー長官の指示によって実施していた、原子力や石炭火力のようなベースロード電源が停止していくことによる系統の信頼度への影響や、その背景にある卸電力市場の構造などに関する調査報告書を公表した。報告書によれば、卸電力市場において原子力や石炭火力などのベースロード電源が早期閉鎖に追い込まれている要因として、低調な電力需要の伸び、再エネの拡大、および環境規制の強化などが考えられるが、最も大きな影響を与えているのは安い天然ガス価格であるとしている。報告書を受けてペリー長官は、「今日の競争的電力市場において、環境規制や再エネに対する補助金が市場機能に大きな影響をおよぼしているのは明らかであり、最適な電源構成を検討する上での課題にもなっている。政策担当者は、系統の信頼度やレジリエンシーに大きな影響をおよぼすこのような要因をよく考えなければならない」とコメントしている。